

スキーのスタートは

13期 山西（関）久美子

雪国生まれなので、校庭の裏山で下駄スキーの直滑降というのは、普通ですが、スキー板をはいて本格的スキーというのは、大学1年の春休みです。

同学年の理学部の三尾さんに誘われ、八方尾根のレストランへバイト付きスキーに行きました。バイト仲間は、元気盛りの若い人たちばかりで、就業前に従業員無料のリフトで第3ゲレンデまで上り、一気にふもとまで下りていくという強者ばかり。私たちは、正真正銘の初心者で、スキーを履いて歩くのもやっとでした。余りにも拙く、小さな起伏を恐ろしくゆっくり上り下りする様から、南極探検隊とからかわれました。私は、10日位で、リタイアしました。スキーで滑った記憶はありません。三尾さんは3週間くらいいたはずで、うまくなったのかな。

私の中には、南極探検隊というあだ名と、1日じゅう続くボルシチまみれのお皿の山と、2段ベッド、幸いにもとても料理上手の同僚のおねえさんの賄い飯の旨さが記憶の底に。八方はその後、何度も訪れたのに、あの場所がどこだったか、もう、思いだせません。



(2016年3月 久しぶりの八方尾根)

子育て中は、やはり、怪我が怖くてスキーから遠ざかっていました。KUWVのスキー合宿のことを知り、子供のお古のスキーウェアを借り、格安のスキーセットで、私のスキー時間が再開です。人生のこの時期にスキーがあるなどとは考えませんでしたね。昔、私をスキーに連れってなどのやかましいミュージックを背景にしたスキー場もずいぶん静かです。



(自宅の庭にて)

現在の趣味は、年齢相応に庭いじりになりました。昨年暮から、滑川の主人の実家に住んでいます。古い庭でしたが、少し手を入れ、今は私が管理しています。ワングルの方々のおかげで、植物や野生動物にも、興味を持てるようになりました。

真近かに見える立山連峰で天気を読み、山のような雑草を凶鑑片手に引っこ抜いています。また、青柳さんのおかげで、野鳥にも目がいくようになりました。3月中旬、庭に散らかる工事用と思われる太い針金や電気コードにプラスチック類。見上げれば、銀モクセイの木の上にカラスの巣。カラスの巣は文字どおりの鉄筋造りなんですよ。雑草を抜いていると、身近にキセキレイが、よってきて、びっくり。その他、尾長や、むくどり、四十雀、雀の大群、土鳩、雉を友に、毎日を楽しんでいます。

原稿を書いた4月はじめ、種つけ花が生えているというより、湧き出ています。



(銀モクセイの木の上のカラスの巣)